

〇〇大学法科大学院機能強化構想調書

(法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラム)

1. □□研究科△△専攻における教育理念（教育方針）及び今後目指すべき方向性

(最大文字数 600 字以内で記載)

| 教育理念（教育方針）及び今後目指すべき方向性 |
|---|
| 〇〇大学法科大学院は、・・・を目的としており、・・・における法曹を養成することを教育理念としている。これまで・・・ |

2. 今後 5 年間（2019～2023 年度）の機能強化構想

(最大文字数 600 字以内で記載)

| 機能強化構想 |
|---|
| 〇〇大学法科大学院は今後 5 年間において、以下の〇つの機能強化を実施する。一つ目は・・・ |

3. 「教育理念（教育方針）及び今後目指すべき方向性」と「今後5年間の機能強化構想」の関係

（最大文字数 800 字以内で記載）

1. と 2. の関係について

本法科大学院の●●という現状・課題を踏まえると、教育理念及び今後目指すべき方向性を実現するためには、△△という機能強化が不可欠となる。その理由としては・・・

構想を実現するための取組①（重要度 40%～70%）

【取組区分①：「法科大学院等の抜本的な教育の改善・充実に向けた基本的な方向性」の柱である法科大学院と法学部等との連携強化の取組、法学未修者教育の質の改善の取組】

| | | | | |
|--|---|------------|------------|-------------|
| 番号 | 取組①－ 1 | | | |
| 「今後 5 年間の機能強化構想」と各取組との関係 | ※最大文字数 600 字以内程度で記載 ○○を実現するため、・・・・・・・・・・の取組を実施する。 | | | |
| 取組の概要 ※目標値を達成するための取組が複数ある場合は、取組ごとに欄を追加し、概要を記載 | 【取組期間】 ○年○月～○年○月まで 【取組の概要】 ※目標値を達成するための取組の概要を 500 字以内程度で記載 | | | |
| 重要度 | 基準時点 | 基準値 | 目標時点 | 目標値 |
| 20% | 2017 年 9 月 ○ 日 | 司法試験合格率 ○% | 2023 年 9 月 | 司法試験合格率 70% |
| KPI 設定の考え方 | ※設定した目標値が機能強化構想や関連する取組との関係を踏まえ、適切かつ妥当なものとする理由を 500 字以内程度で記載 | | | |

| 年度 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|-----------|---|-----------|------|---|------------|
| 実績値 | 〇〇 | — 算出不可 | 〇〇 | 自己評価 a：順調以上 b：遅れているが今後の計画に支障はない c：遅れており、更なる工夫が必要 | |
| 自己評価 | a | a | a | | |
| 自己評価の判断理由 | ※実績値は、調書提出時点の最新の値を記入すること。 ただし、実績値が算出できない取組については、例のように記載し、算出不可であることが分かるようにすること。各年度の取組状況は、2020年10月～2021年9月までの状況を記載すること。 【2019年度】 (2018年10月～2019年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇 【2020年度】 (2019年10月～2020年9月の取組状況) ※800字以内 (自己評価の説明) ※取組状況や実績値を踏まえ、説明すること。 ※実績値が算出できない取組についてはその理由を付すとともに、計画に沿って実施した取組、計画の達成のため工夫した取組、特筆すべき事項など具体的に記載すること。特筆すべき事項については、コロナ禍で対応できなくなった事項、コロナ禍でどのような工夫をしたのかなどについて記載すること。 【2021年度】 (2020年10月～2021年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明) 〇〇 | | | | 評点 |
| | | | | | 昨年度の 評点 |
| | | | | | S～C |

| | | |
|--|----------------------------|--|
| | 【2022 年度】 【2023 年度】 | |
|--|----------------------------|--|

※評点の項目及びグレーの箇所は記載不要です。オレンジの箇所に記載ください。

構想を実現するための取組②（重要度 0%～30%）

【取組区分②：法科大学院等の抜本的な教育の改善・充実に資する連携・連合の取組】

| | | | | |
|--|---|------------|------------|-------------|
| 番号 | 取組②－２ | | | |
| 「今後５年間の機能強化構想」と各取組との関係 | ※最大文字数 600 字以内程度で記載 ○○を実現するため、・・・・・・・・・・の取組を実施する。 | | | |
| 取組の概要 ※目標値を達成するための取組が複数ある場合は、取組ごとに欄を追加し、概要を記載 | 【取組期間】 ○年○月～○年○月まで 【取組の概要】 ※目標値を達成するための取組の概要を 500 字以内程度で記載 | | | |
| 重要度 | 基準時点 | 基準値 | 目標時点 | 目標値 |
| 20% | 2017 年 9 月 ○ 日 | 司法試験合格率 ○% | 2023 年 9 月 | 司法試験合格率 70% |
| KPI 設定の考え方 | ※設定した目標値が機能強化構想や関連する取組との関係を踏まえ、適切かつ妥当なものとする理由を 500 字以内程度で記載 | | | |

| 年度 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|-----------|---|-----------|------|---|------------|
| 実績値 | 〇〇 | — 算出不可 | 〇〇 | 自己評価 a：順調以上 b：遅れているが今後の計画に支障はない c：遅れており、更なる工夫が必要 | |
| 自己評価 | a | a | a | | |
| 自己評価の判断理由 | <p>※実績値は、調書提出時点の最新の値を記入すること。 ただし、実績値が算出できない取組については、例のように記載し、算出不可であることが分かるようにすること。各年度の取組状況は、2020年10月～2021年9月までの状況を記載すること。</p> <p>【2019年度】 (2018年10月～2019年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明)</p> <p>【2020年度】 (2019年10月～2020年9月の取組状況) ※800字以内 (自己評価の説明) ※取組状況や実績値を踏まえ、説明すること。 ※実績値が算出できない取組については、その理由を付すとともに、計画に沿って実施した取組、計画の達成のため工夫した取組、特筆すべき事項など具体的に記載すること。特筆すべき事項については、コロナ禍で対応できなくなった事項、コロナ禍でどのような工夫をしたのかなどについて記載すること。</p> <p>【2021年度】 (2020年10月～2021年9月の取組状況) 〇〇 (自己評価の説明)</p> <p>【2022年度】</p> | | | | 評点 |
| | | | | | 昨年度の 評点 |
| | | | | | S～C |

| | | |
|--|-----------|--|
| | 【2023 年度】 | |
|--|-----------|--|

※評点の項目及びグレーの箇所は記載不要です。オレンジの箇所に記載ください。

構想を実現するための取組③（重要度 0%～30%）

【取組区分③：取組①及び②以外の大学独自の取組】

| | | | | |
|---|---|-----|------|-----|
| 番号 | 取組③－ 1 | | | |
| 「今後 5 年間の機能強化構想」と各取組との関係 | ※最大文字数 600 字以内程度で記載 ○○を実現するため、・・・・・・・・・・の取組を実施する。 | | | |
| 取組の概要 <small>※目標値を達成するための取組が複数ある場合は、取組ごとに欄を追加し、概要を記載</small> | 【取組期間】 ○年○月～○年○月まで 【取組の概要】 ※目標値を達成するための取組の概要を 500 字以内程度で記載 | | | |
| 重要度 | 基準時点 | 基準値 | 目標時点 | 目標値 |

| | | | | | |
|------------|--|-----------|---------|------------|------------|
| 20% | 2017年9月○日 | 司法試験合格率○% | 2023年9月 | 司法試験合格率70% | |
| KPI 設定の考え方 | ※設定した目標値が機能強化構想や関連する取組との関係を踏まえ、適切かつ妥当なものとする理由を500字以内程度で記載 | | | | |
| 年度 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
| 実績値 | ○○ | — 算出不可 | ○○ | | |
| 自己評価 | a | b | a | | |
| 自己評価の判断理由 | <p>※実績値は、調書提出時点の最新の値を記入すること。ただし、実績値が算出できない取組については、例のように記載し、算出不可であることが分かるようにすること。各年度の実績値は、2019年10月～2020年9月までの状況を記載すること。</p> <p>【2019年度】 (2018年10月～2019年9月の取組状況) ○○ (自己評価の説明) ○○</p> <p>【2020年度】</p> | | | | 評点 |
| | | | | | 昨年度の 評点 |

自己評価
a: 順調以上
b: 遅れているが今後の計画に支障はない
c: 遅れており、更なる工夫が必要

| | | |
|--|--|-----|
| | <p>(2019年10月～2020年9月の取組状況) ※800字以内 (自己評価の説明) ※取組状況や実績値を踏まえ、説明すること。 ※実績値が算出できない取組については、その理由を付すとともに、計画に沿って実施した取組、計画の達成のため工夫した取組、特筆すべき事項など具体的に記載すること。特筆すべき事項については、コロナ禍で対応できなくなった事項、コロナ禍でどのような工夫をしたのかなどについて記載すること。</p> <p>【2021年度】 (2020年10月～2021年9月の取組状況) ○○ (自己評価の説明) ○○</p> <p>【2022年度】</p> <p>【2023年度】</p> | S～C |
|--|--|-----|

※評点の項目及びグレーの箇所は記載不要です。オレンジの箇所に記載ください。

○特別加算枠

【共通到達度確認試験を活用した未修者教育の改善・充実と質の保証について】

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>進級判定時の共通到達度確認試験の活用方法</p> | <p>※ 令和3年度（2021年度）及び令和4年度（2022年度）の活用方法を最大文字数500字程度以内で具体的に記載してください。</p> <p>確認試験の最低基準（得点、順位、偏差値等）を置く場合は、その基準値の根拠も併せて記載してください。</p> |
|-----------------------------|---|